

NetIQ Identity Console 1.5 リリースノート

2022 年 9 月

NetIQ Identity Console 1.5 では、さまざまな新機能が追加され、以前のいくつかの問題が解決されています。これらの改善の多くは、お客様から直接ご提案いただいたものです。皆様の貴重なお時間とご意見に感謝いたします。弊社の製品が皆様のご期待に添えるよう、引き続きお力添えを賜りたく存じます。

詳細と最新のリリースノートについては、[Identity Console マニュアル](#)の Web サイトを参照してください。この製品をダウンロードするには、[NetIQ ダウンロード](#) Web サイトを参照してください。

このリリースノートには、次のセクションがあります。

- ◆ 1 ページの「新機能」
- ◆ 4 ページの「インストールまたはアップグレード」
- ◆ 4 ページの「既知の問題」
- ◆ 5 ページの「保証と著作権」

新機能

Identity Console 1.5 では、このリリースで次のアップデートが提供されています。

- ◆ 2 ページの「サポートしているオペレーティングシステム」
- ◆ 2 ページの「対応ブラウザ」
- ◆ 2 ページの「ソフトウェアの修正」
- ◆ 3 ページの「新機能」
- ◆ 4 ページの「システム要件」

サポートしているオペレーティングシステム

Identity Console 1.5 は、次のオペレーティングシステムをサポートしています。

スタンドアロンおよび Docker のインストールの場合：

- ◆ SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 15 SP4。
- ◆ Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 8.6 および 9.0。

ワークステーションの場合：

- ◆ Windows Server 2016、2019、および 2022。
- ◆ Windows 10 および 11。

対応ブラウザ

Identity Console 1.5 は、次のブラウザの最新バージョンをサポートしています。

- ◆ Google Chrome
- ◆ Mozilla Firefox
- ◆ Microsoft Internet Edge

ソフトウェアの修正

Identity Console 1.5 には、次のソフトウェア修正が含まれています。

同じマシン上に eDirectory のインスタンスを含めずに Identity Console をインストールする

Identity Console のインストールは、eDirectory のインスタンスが同じマシン上に存在しない場合でも機能します。eDirectory インスタンスがなくてもインストールは成功します。(Defect: 383087)

環境設定ファイルは LDAP の大文字と小文字を区別しないパラメータをサポート

Identity Console は、edirapi_osp.conf で [ldapuser] パラメータの小文字と大文字の両方を管理するように改良されています。(Defect: 495155)

Novell Directory Services (NDS) ユーザは証明書を変更する許可を持つ

インストーラは、サーバ証明書と CA 証明書の権利を NDS ユーザがアクセス可能となるように変更します。(Defect: 514057)

証明書管理システム

ユーザが期限切れのサーバ証明書を検証した場合、証明書が無効であるというメッセージが表示されます。ドット (.) を使用したサーバ証明書の作成が可能になりました。管理者ユーザは、base64 および .der 形式でユーザ証明書をインポートできるようになりました。

ユーザインタフェース

複数のオブジェクトを選択すると、コンテキストブラウザに [[すべて消去]] オプションが表示されます。IDVault からのマイグレーションで複数のエントリが選択されている場合、エントリの表示は重複しません。アプリケーションのタイムアウトとアプリケーション Web ページの更新によって、ユーザは直ちにログインページにリダイレクトされます。ユーザ作成用の姓名を入力すると、フルネームが自動的に入力されるようになりました。

エラー処理

管理者以外のユーザが base64 形式および .der 形式で証明書をインポートしようとする、適切なエラーメッセージが表示されます。インストーラが Identity Console のインストール用の証明書パスを見つけられない場合、エラーメッセージが表示されます。SuiteB モードで証明書管理タイルにアクセスすると、適切なメッセージが表示されます。

インストールとアップグレードのプロセス

インストーラは、サーバ証明書を .pfx 形式でのみ受け入れます。さまざまな入力検証がインストーラに実装されました。Identity Console インストーラは、インストール中にマシンの IP を自動的に検出するようになりました。

クエリのパフォーマンス

クエリのパフォーマンスを向上させるために、[SchemaCache] の更新頻度は 15 分に設定されています。Identity Console での同時要求処理の制限が向上しました。

新機能

役割ベースエンタイトルメント

Identity Console 1.5 には、役割ベースエンタイトルメント (RBE) が付属しています。RBE は、管理者が役割に応じてアプリケーション固有の許可とアクセス権をユーザに割り当てるのに役立ちます。

コンテキスト検索フィールド

Identity Console 1.5 には、コンテキスト検索フィールドが付属しています。コンテキスト検索は、ユーザが提供するコンテキストに基づいて Web ベースの検索結果を最適化する形式です。

Identity Console Windows Workstation

ユーザは、Windows Identity Console ワークステーションを使用して、Windows に Identity Console を展開できます。

依存するコンポーネントの更新

このリリースでは、次のサードパーティコンポーネントがサポートされています。

- ◆ Angular 13 のアップグレード

システム要件

必要な前提条件、コンピュータの要件、インストール、アップグレードまたは移行については、『[Identity Console インストールガイド](#)』の「[Identity Console のインストールの計画](#)」を参照してください。

インストールまたはアップグレード

[[ソフトウェアライセンスとダウンロード \(https://sld.microfocus.com/\)](https://sld.microfocus.com/)] ページにログインし、ページの指示に従ってソフトウェアをダウンロードします。NetIQ では、Identity Console をインストールするために tar.gz または .zip ファイルが提供されています。たとえば、Docker の場合は IdentityConsole_150_Containers.tar.gz、スタンドアロンインストールの場合は IdentityConsole_150_Linux.tar.gz、Windows ワークステーションの場合は IdentityConsole_150_workstation_win_x86_64.zip です。

インストール

このセクションでは、Identity Console のインストールするプロセスについて説明します。

Docker コンテナとしての Identity Console の展開

Identity Console のインストールの詳細については、『[Identity Console インストールガイド](#)』の「[Docker コンテナとしての Identity Console の展開](#)」セクションを参照してください。

スタンドアロン Identity Console の展開（非 Docker）

Identity Console のインストールの詳細については、『[Identity Console インストールガイド](#)』の「[スタンドアロン Identity Console\(非 Docker\) の展開](#)」セクションを参照してください。

Windows 上でワークステーションとしての Identity Console の展開

Identity Console のインストールの詳細については、『[Identity Console インストールガイド](#)』の「[Windows 上のワークステーションとしての Identity Console \(https://wwwtest.netiq.com/documentation/identity-console/identity_console-install/data/t4j68b4oo7x1.html\)](https://wwwtest.netiq.com/documentation/identity-console/identity_console-install/data/t4j68b4oo7x1.html)」セクションを参照してください。

既知の問題

NetIQ Corporation は、弊社の製品が企業のソフトウェアの必要にかなった質の高いソリューションを提供できるよう努めています。次の問題は、現在調査中です。いずれかの問題についてさらに支援が必要な場合は、[テクニカルサポート](#)に連絡してください。

Windows ワークステーションサーバ証明書の命名規則

問題：Windows ワークステーションでは、サーバ証明書名は常に keys.pfx である必要があります。

保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.netiq.com/company/legal> を参照してください。

Copyright © 2022 NetIQ Corporation, a Micro Focus company. All Rights Reserved.